

高精度偽造券情報 連邦準備券\$100 SERIES2009

2025年7月発見場所都内。紙幣鑑定機 NC1300型を通過する高精度偽造券が出現しました。肖像画他のデザインはオフセット印刷で、記番号は今のところ MB5175～が発見されています。手触りは凹凸感のある用紙が用いられ、ざらつき感があります。表面右下の OVI (Optical Variable Ink) 光学可変インクは傾斜によっても色は変わりません。見た目の色合い等は真正券よりやや白っぽい感じです。

磁気インクが使われているため、紙幣鑑定機については日本 CDR 製品では、NC1100型、1200型、1300型を通過する能力があります。その他機種はリジェクトします。また他社メーカーの機械は未調査です。当該偽造券は機械鑑定対応の仕様のため、抵抗力については早急な確認が必要でしょう

このところ50ドル偽造券が多発していましたが、円安基調、大阪・関西万博開催の日本がターゲットになったものと思われます。すでに大量流入している可能性も否定できません。当面は100ドルの両替取引にはご注意ください。本書を参考に視認鑑定を行ってください（**嚴重部外秘情報**）。

1. 可視光線画像

1) 偽造券（検体）

MB51753334C

SERIES2009

（発行年度）

色合いは真正券より白っぽい。



2) 真正券（参照用）

SERIES2013

（発行年度）



※ご注意：本書を印刷すると、照会標本とした上記真正券が印刷できない場合があります。原因はスキナーやプリンターに設定された偽造防止ソフトがはたらくため、そのような場合は、日本CDRにお知らせください。（TEL03-3541-1951 info@cdrjapan.co.jp）

2. 赤外線画像

1) 偽造券

縦方向のストライプは視認できない。



2) 真正券

縦方向に画像が消えて2本のストライプがくっきりと視認できる。



3. 紫外線画像

1) 偽造券

肖像画右縦方向のセキュリティスレッド部分に蛍光発色を示すがやや鈍い。



2) 真正券

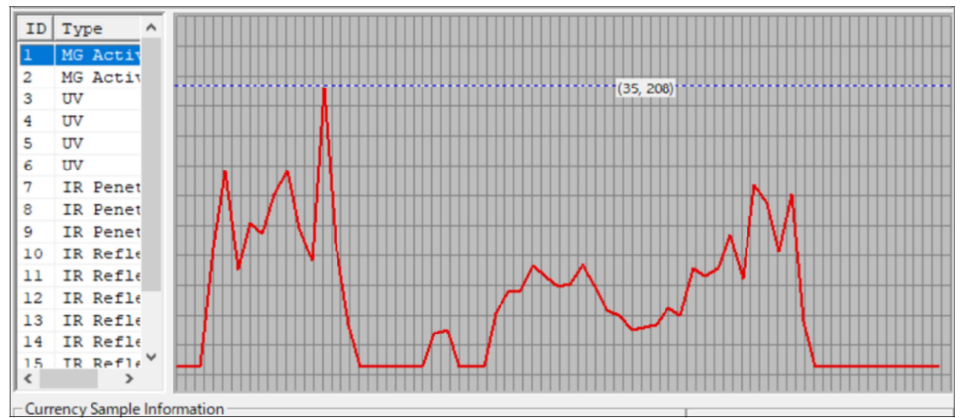
蛍光発色が鮮明である。
Version 違いで文字が浮かび上がる真正券もある。



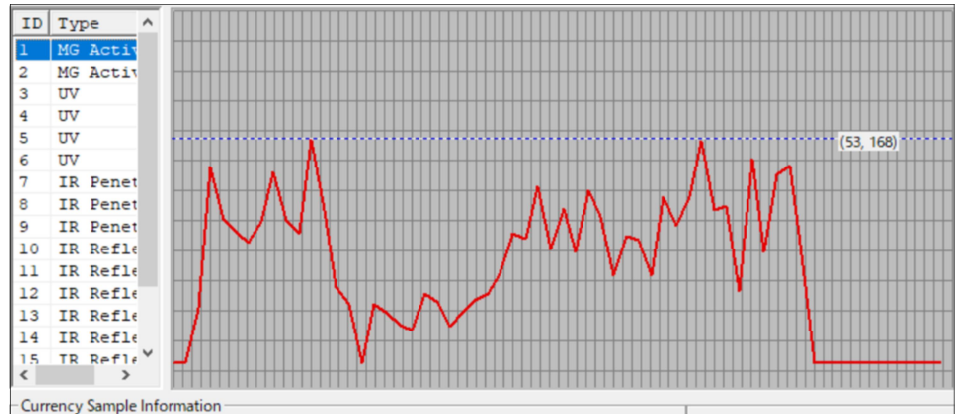
4. 磁気反応グラフ

1) 偽造券

紙幣の左右方向にデータサンプリングすると磁気ゲインに近似が発生している。



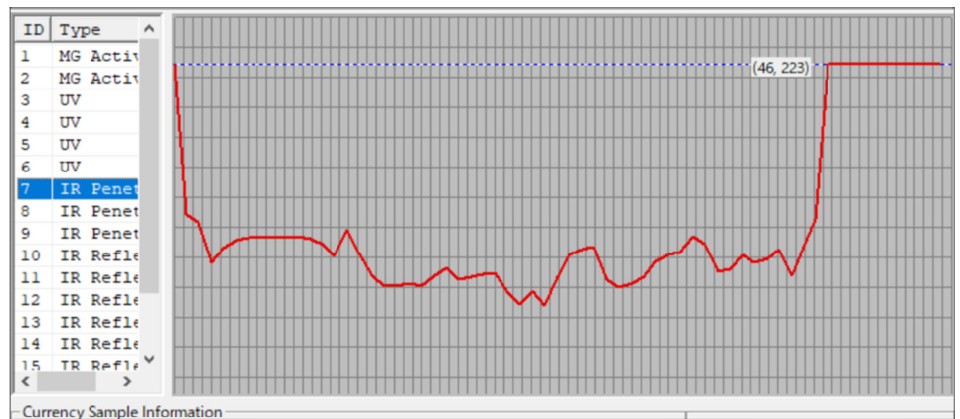
2) 真正券



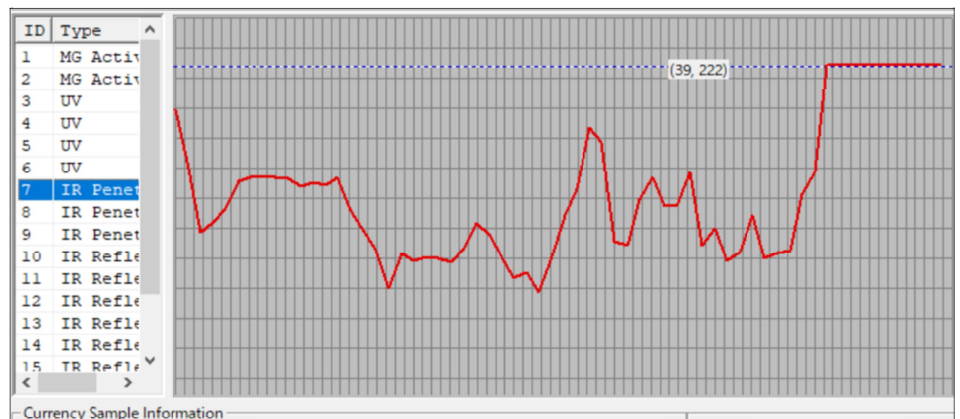
5. 赤外線反応グラフ

1) 偽造券

近似値が発生している。



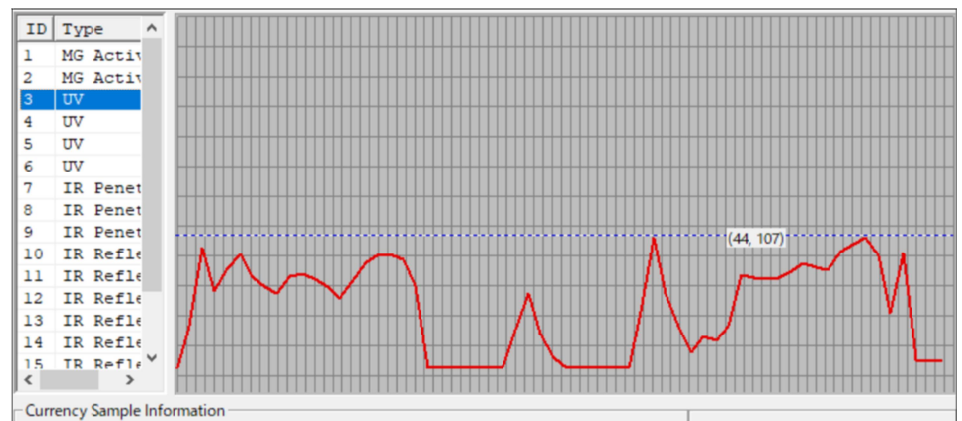
2) 真正券



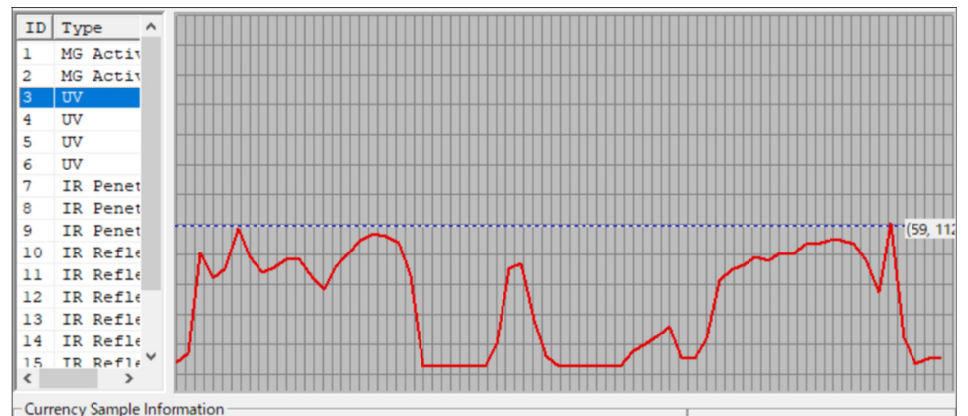
6. 紫外線反応グラフ

1) 偽造券

近似値が発生している。



2) 真正券

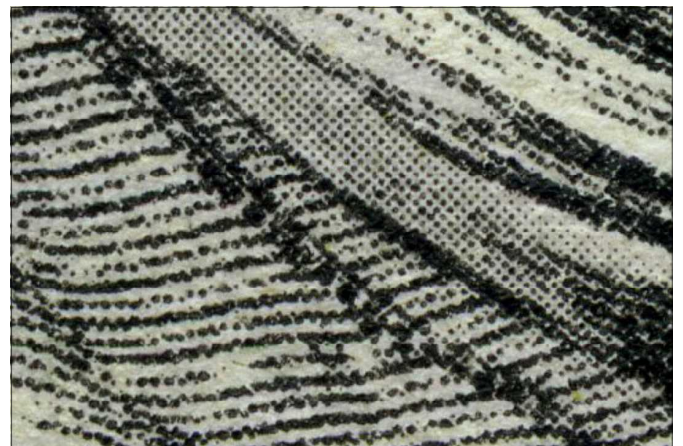


7. マイクロ文字

1) 偽造券

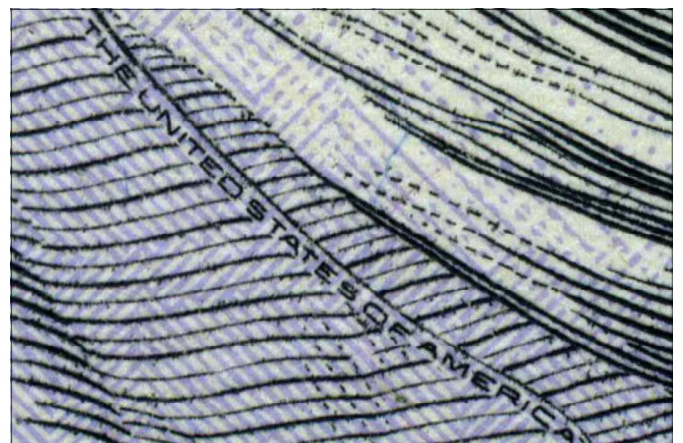
偽造券では、画線が太く不鮮明。S、E、A、M はつぶれて再現されていない。

衣服の画線も不鮮明である。



2) 真正券

アメリカ独立宣言の起草者。「建国の父」と称されるベンジャミン・フランクリン肖像画の襟に「THE UNITED STATES OF AMERICA」のマイクロ文字が見られる。



8. 紙幣記番号

1) 偽造券

偽造券はメリハリが感じられず、網点スクリーン印刷で再現されている可能性が高い。マージナルゾーンは見られない。



2) 真正券

インクがはみ出した凸版印刷ならではのマージナルゾーンが見える。(赤丸部分)。



9. 混抄繊維

1) 偽造券

全ての米ドル紙幣には用紙全体に抄き込まれているはずの着色混抄繊維が見られない。印刷による再現もなく、手抜きされ偽造としての完成度は低い。(マイクロ文字100USA～も再現されていない)



2) 真正券

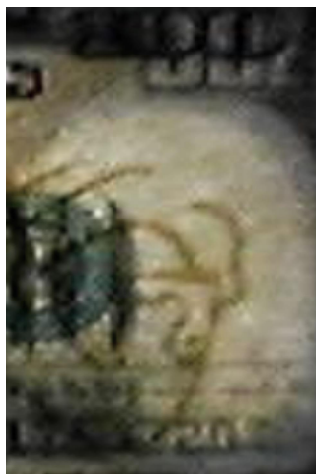
真正券では、赤・青の着色混抄繊維が用紙全体に抄き込まれている。



10. すかし

1) 偽造券

印刷すかしが施されている。画としては稚拙な表現である。逆さまに印刷された個体も見られる。



2) 真正券

紙の厚みで濃淡を表現する黒すかしが施されている。



11. 目が死んでいる？（偽造鑑定の定石）

1) 偽造券

微細印刷の再現ができず同心円状の円弧が描けていない。そのため目が死んだように見受けられる。



2) 真正券

真正券特有の同心円状凹版印刷及びまっげまでクリーンに印刷されている。目が生き生きと感じられる。



12. OVI (Optical Variable Ink) 光学可変インク

1) 偽造券

金属光沢はあるものの変色は見られない。記番号に近い位置にある。

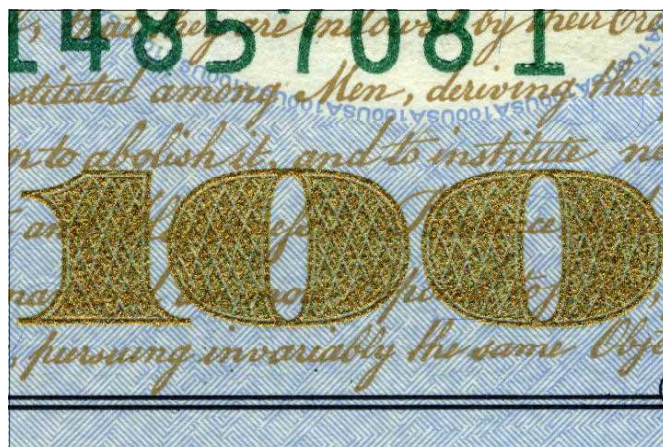
紙幣束を親指でパラパラめくる残像鑑定を実施する。



2) 真正券

真正券表面右下の金種マーク「100」は正面から正体視すると茶褐色に見え、傾斜視認では黄緑色に変色する。

黄金→黄緑



13. 微細印刷

1) 偽造券

微細印刷としての突起状デザインと「100」のマイクロ文字のいずれもがつぶれて視認ができない。地紋模様がつぶれて視認できない。



2) 真正券

真正券では微細印刷としての突起状デザインと「100」のマイクロ文字が視認できる。



14. 連銀ホールマークの印刷版式

1) 偽造券

平版印刷のため、真正券に見られるマージナルゾーンが見られない。メリハリが感じられず、眠気をさそう出来映えである。



2) 真正券

真正券はこの部分は、凸版印刷であり、記番号と同様にマージナルゾーン（赤丸）が形成されている。



15. 3D リボン

1) 偽造券

3D リボンが印刷で再現されているため、アニメ状に動かない。透明の光沢インクで樹脂性らしさを演出している。



2) 真正券

窓開き埋設仕様の3D リボンが見られる。「100」と「ベル」がアニメ状に動く。真正券には透明の被覆のような部品は存在しない。

